中高生がつくる、えほんのひろば（中高生えほんのひろばモデル事業）

【文部科学省委託「読書コミュニティ拠点形成支援」事業】開催要項

１　目的

中学生や高校生が自分たちで「えほんのひろば」を開催することを通して、気軽に読むことができる本があることを知ってもらうことで、読書習慣のない中高生の本を読むきっかけづくりを進めます。

１つの事業を企画・運営することを通して、中学生や高校生が協同して物事に取り組む力を育て、また、自分たちのこれからのキャリアについて考えるきっかけをつくります。

※「えほんのひろば」：絵本や図鑑、写真集などを表紙が見えるように並べた広場のようなスペースを設け、そこで寛ぎながら本を自由に読んだり、眺めたり、読んでもらったりする読書のイベント。

２　主催

　　大阪府教育委員会

３　実施内容

　　　中高生に、以下の実施例のような形式での「えほんのひろば」開催について、企画・運営に参加してもらいます。また、実施内容について、２月に開催する読書活動推進ネットワークフォーラムで報告していただきます。

　　≪実施例≫

　　　・地域の幼稚園や保育園、小学校と連携し、幼稚園等に出張して、園児・児童等を対象に実施。

　　　・地域の図書館と連携し、図書館と協同で地域在住の子ども達等を対象に実施。

・文化祭等学校内でのイベントとして、学校の生徒等を対象に実施。

　　　・その他

４　参加者

大阪府内の中学校、高等学校または支援学校に在籍する生徒及び担当となる教員で構成されるグループ（以下「実施グループ」といいます）。

５　実施時期

　　平成29年９月～12月の期間中、いずれか１日（１回1.5～６時間程度）

６　参加者の募集

（１）募集期間

　　平成29年８月２日（水）から９月21日（木）まで

（２）応募方法

実施グループは、別紙応募用紙に必要事項を記載し、各学校の担当者様から大阪府教育庁地域教育振興課まで、メールかＦＡＸで提出してください。

（３）実施グループの選定

応募書類をもとに、提案された実施方法の内容、学校の種類、地域等を総合的に考慮し、大阪府教育委員会が実施グループを５グループ選定します。結果につきましては、担当者様にお知らせします。

７　「えほんのひろば」の開催

（１）開催内容の決定

大阪府教育委員会は、応募書類に基づき、実施グループと以下の項目について調整し、開催内容を決定します。

①開催日時・場所

　・開催日時及び場所を決定します。幼稚園への出張など、第三者の了解が必要な形式を想定している場合は、その第三者と調整の上決定します。

②えほんのひろばの運営

・来場するお客様を想定した上で、当日のスケジュール、読み聞かせなどワークショップの実施の有無、その他必要事項について決定します。

③えほんのひろばに使用する絵本の選定

・絵本を選定します。大阪府教育委員会が所有する「えほんのひろばセット」（※１）は無償で使用することができます（※２）が、実施グループの地域の図書館のえほんのひろばセットなど、他のものを使っていただくこともできます。

　　　　④役割分担

　　　　　・①～③の実行に当たって、実施グループ内の役割分担のほか、実施グループと大阪府教育委員会の役割分担について決定します。

　　　　　　（なお、「えほんのひろばセット」の運搬、及びポスター・チラシを作成する場合の文房具・紙類等消耗品（4000円程度まで）については、大阪府教育委員会が負担します。）

（２）開催

大阪府教育委員会と実施グループは、（１）で決定した開催内容に基づいて、「えほんのひろば」を開催します。

８　大阪子ども読書活動推進ネットワークフォーラムでの事例発表

実施グループには、大阪府教育委員会が１～２月に開催を予定している大阪子ども読書活動推進ネットワークフォーラム（学齢期フォーラム）において、事例発表をお願いする場合があります。

フォーラムは２時間程度、発表時間は10分程度を予定しています。詳細については、別途、お知らせしますが、その際にはご協力をよろしくお願いします。

　※１　えほんのひろばセット：えほんのひろば用の本（約450冊）・面展台＊・クッションマット

・収納箱（＊面展台：絵本等を表紙が見えるように並べることができる台）

※２　えほんのひろばセットは一般にも貸出しています。貸出し状況によっては、希望する日時に開催することができない可能性があります。